

# 地方公務員健康状況等の現況の概要

【調査対象期間】 令和4年4月1日～令和5年3月31日（令和4年度）

【調査事項】 I 健康診断等の実施状況に関する調査  
II 定期健康診断等の結果に関する調査  
III 長期病休者の状況に関する調査  
IV 在職職員の死亡状況に関する調査

【対象職員数】 約80万人（主に首長部局の一般職員の約62%に相当）

【調査対象団体】 351団体

○都道府県（47）＋指定都市（20）＝67団体

○特別区＝23団体

○市（A）：中核市・県庁所在市及び人口30万人以上の市（指定都市を除く）＝73団体

○市（B）：人口5～10万人の市＝94団体

○町 村：人口1～2万人の町村＝94団体

※市（B）及び町村については、毎年任意に都道府県ごとに2団体抽出

※警察職員、消防職員及び教員は対象外

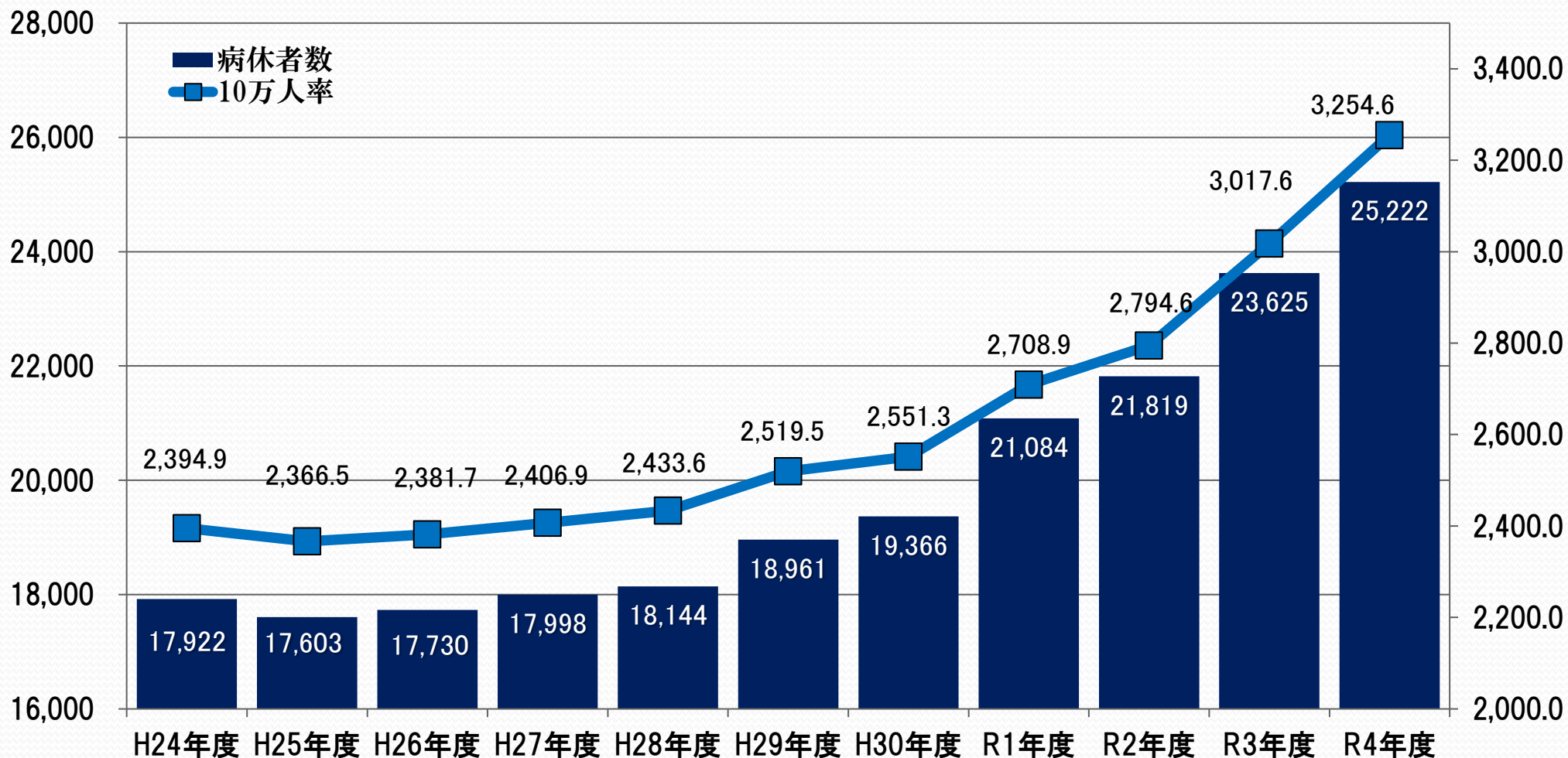
# 今回調査(令和4年度)の概要

- 1 長期病休者（疾病等により休業30日以上又は1ヵ月以上の療養者）数（10万人率）は、3,254.6人であり、令和3年度より237.0人（7.85%）増加している。
- 2 「精神及び行動の障害」による長期病休者数（10万人率）は、2,142.5人であり、令和3年度より239.2人（12.57%）増加しており、10年前（平成24年度）の約1.8倍、15年前（平成19年度）の約2.1倍である。
- 3 「精神及び行動の障害」の長期病休者全体に占める割合は、65.8%であり、引き続き増加している。
- 4 在職死亡者数（10万人率）は、77.2人であり、過去10年間は100人以下で推移しており、近年は横ばいの傾向にある。
- 5 一般定期健康診断の有所見率は、79.6%であり、令和3年度より0.7%減少し、平成27年度以降増加していたが8年ぶりに減少に転じた。

# 長期病休者数(10万人率)の推移

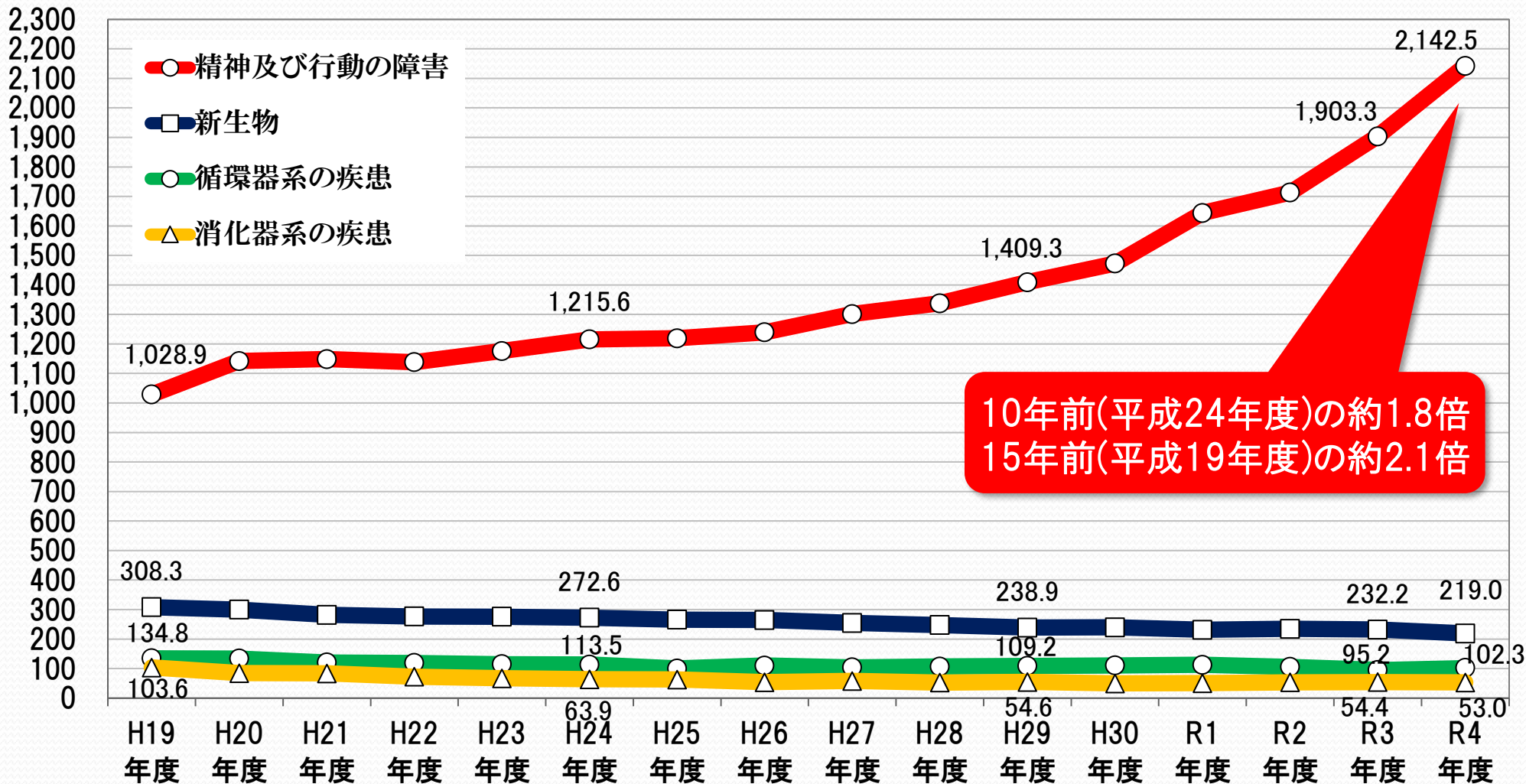
(長期病休者数(人))

(10万人率(人))

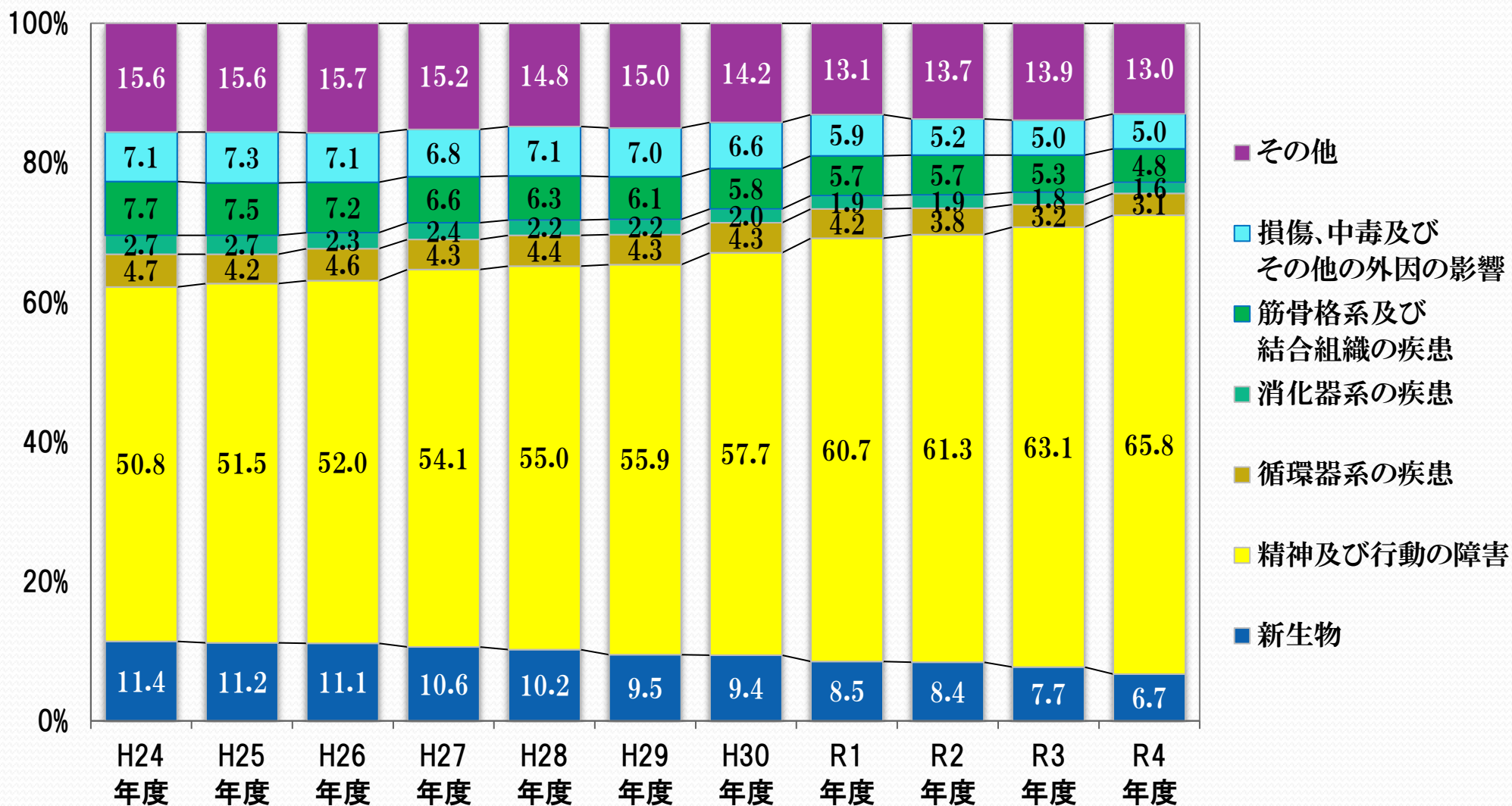


# 主な疾病分類別長期病休者率(10万人率)の推移

(10万人率(人))



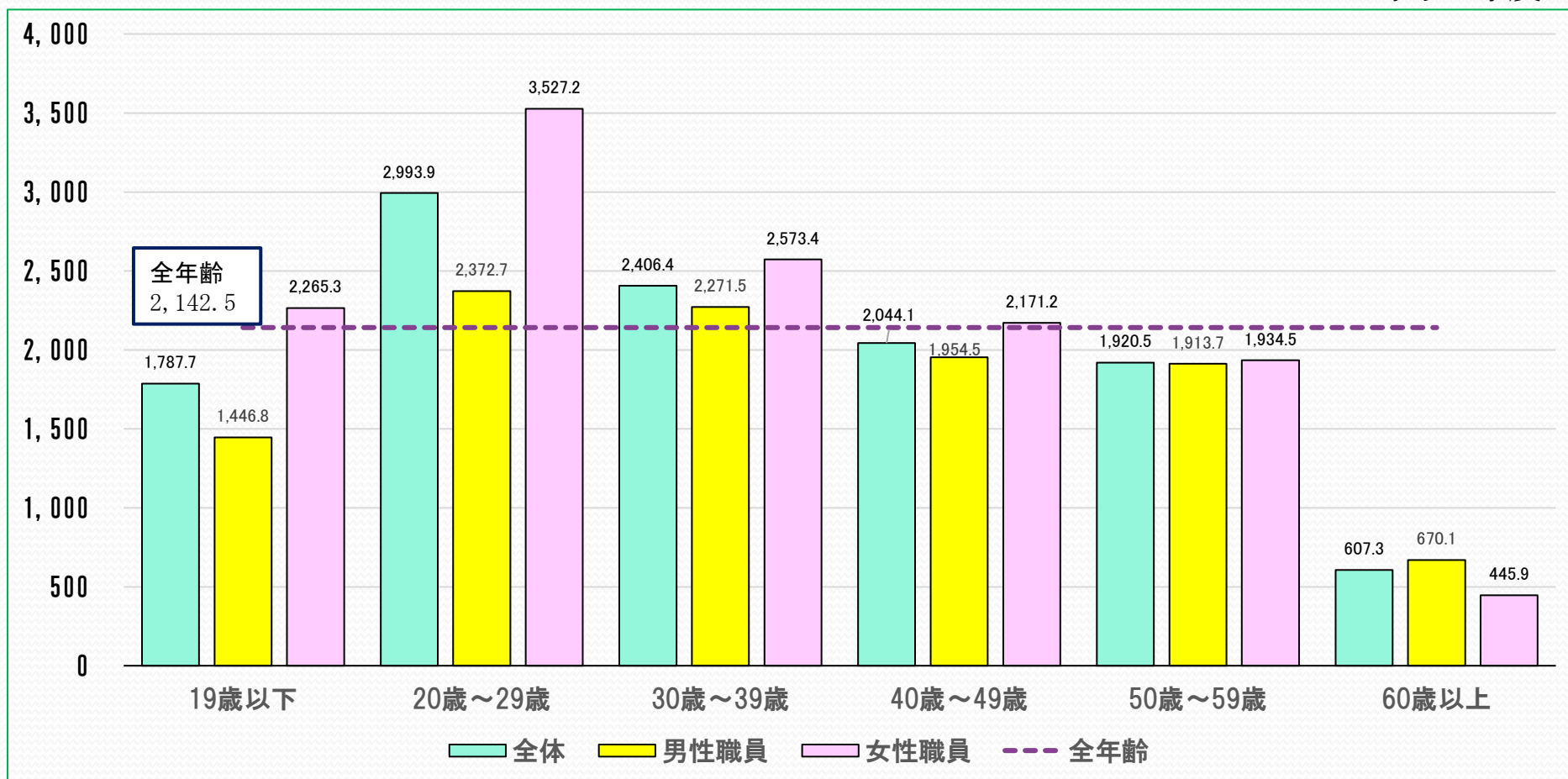
# 長期病休者の疾病分類別構成比の推移



# 男女別・年齢区分別 精神及び行動の障害による長期病休者率(10万人率)

(10万人率(人))

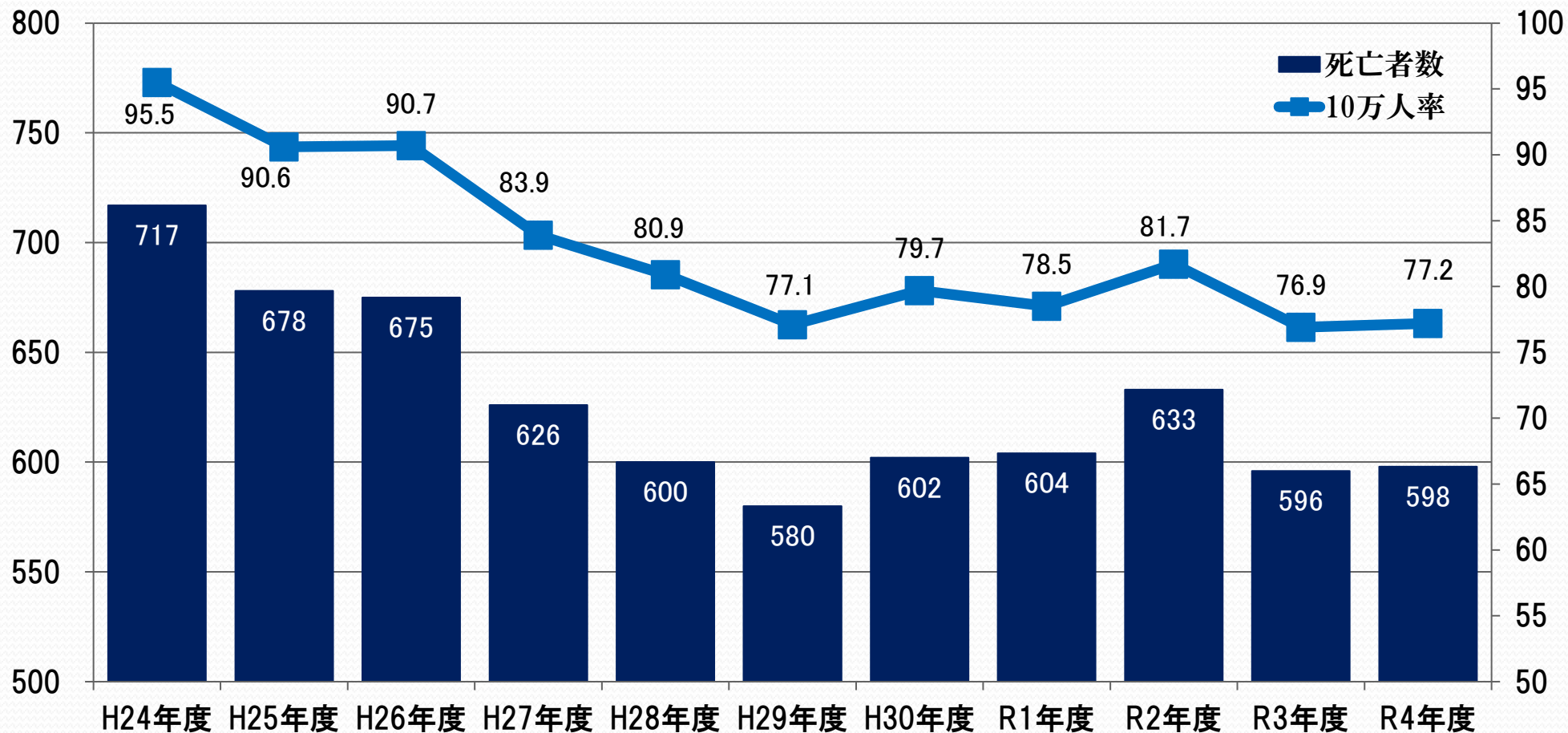
令和4年度



# 在職死亡者の推移

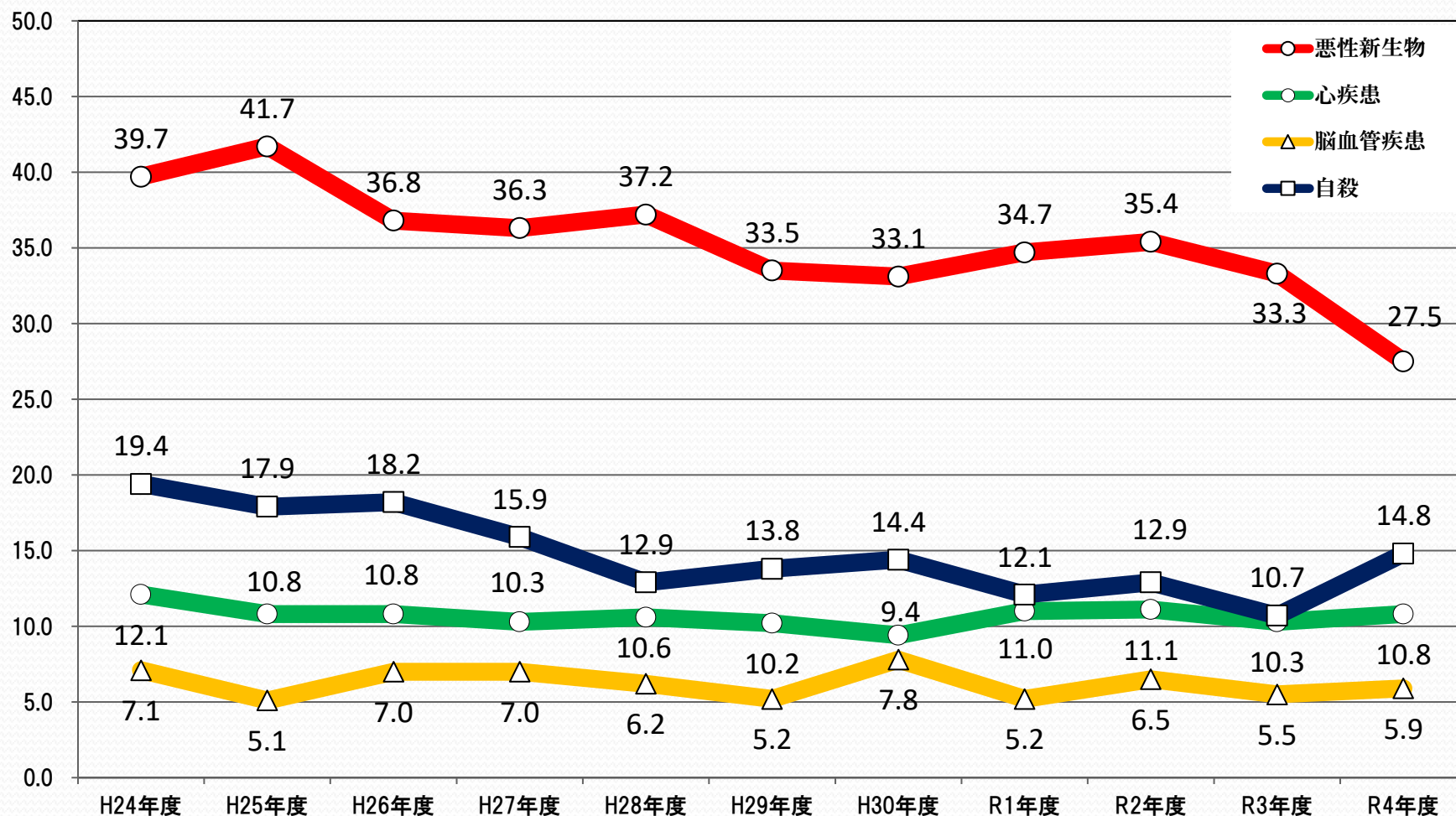
(死亡者数(人))

(10万人率(人))



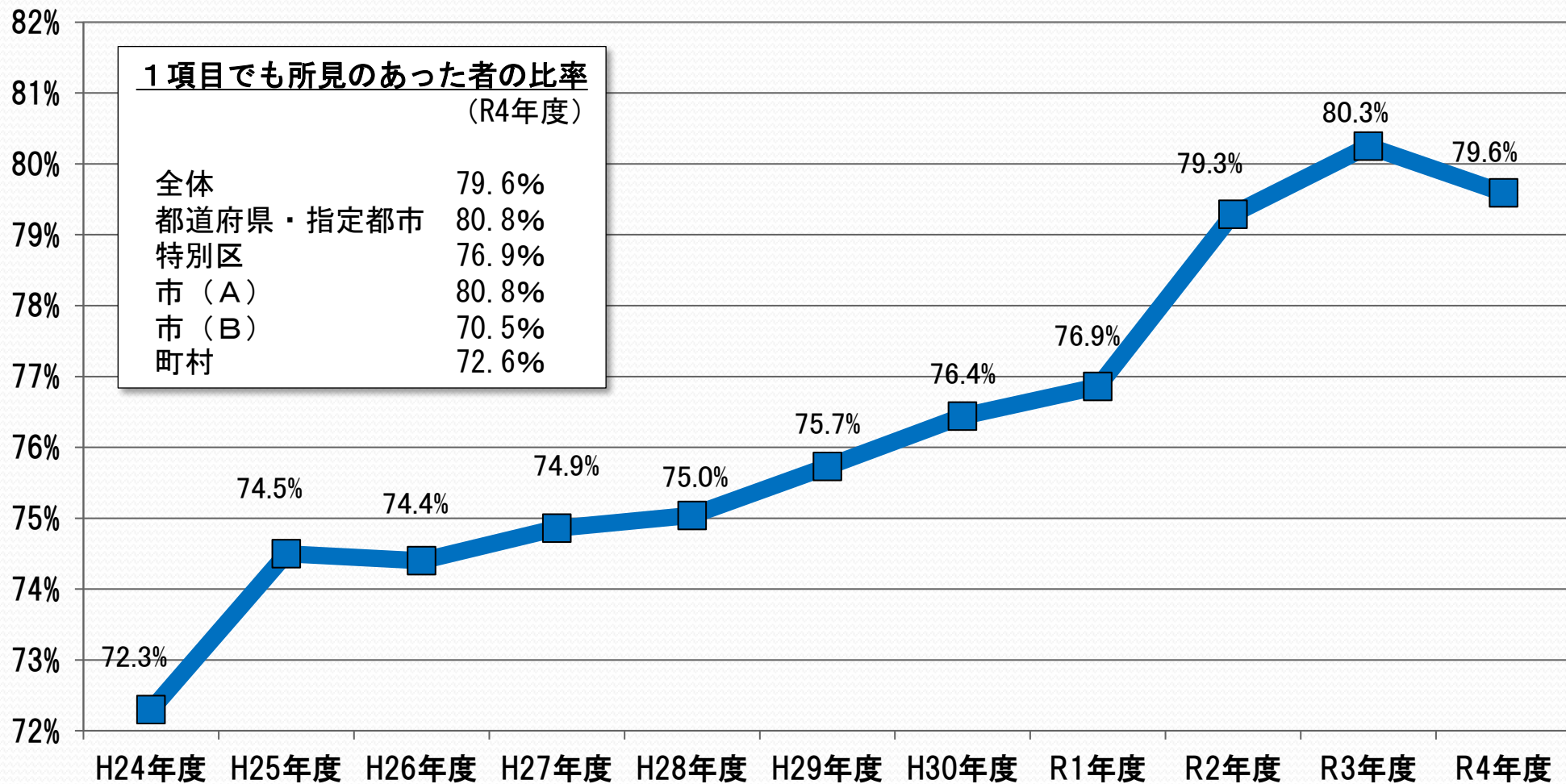
# 在職死亡率(10万人率)の推移(主な原因別)

(10万人率(人))





# 一般定期健康診断の有所見率の推移



# 一般定期健康診断の有所見率(主な検査項目別)

